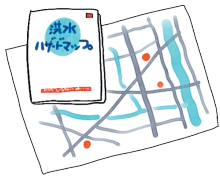


# 福島市洪水ハザードマップ

▶避難所に関するお問合せ先 福島市役所 危機管理室 電話024-525-3793 FAX024-536-4370  
▶洪水ハザードマップに関するお問合せ先 福島市役所 建設部 河川課 電話024-525-3756 FAX024-536-3271

## 1 洪水ハザードマップとは？



○洪水ハザードマップとは、想定される最大規模の降雨により、浸水が想定される範囲（浸水想定区域）を地図化したものです。

※各種ハザードマップは、福島市ホームページでも確認いただけます。  
※ふくしまeマップでは、洪水だけでなく内水や土砂災害ハザードマップも一緒に確認することができます。

福島市  
洪水ハザードマップ



福島市  
土砂災害ハザードマップ



ふくしまeマップ



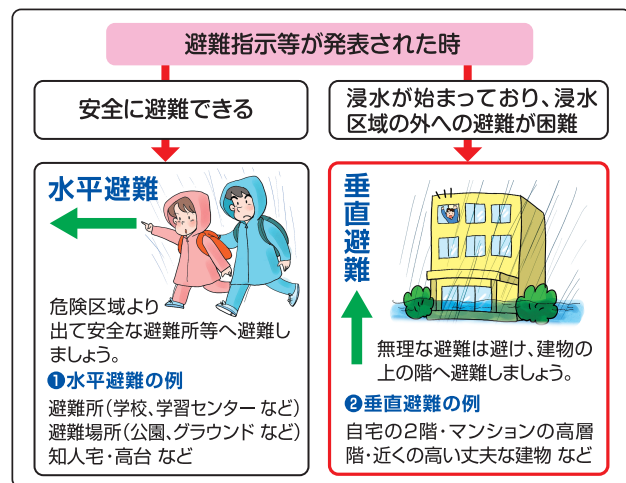
## 2 「洪水による浸水」に適した避難方法を知ろう！

### 警戒レベル一覧

| 警戒レベル                    | 避難情報等                                         |
|--------------------------|-----------------------------------------------|
| 5                        | きんきゅうあんぜんかくほ<br><b>緊急安全確保</b><br>災害発生<br>又は切迫 |
| ~~~~<警戒レベル4までに必ず避難！>~~~~ |                                               |
| 4                        | ひなんしじ<br><b>避難指示</b><br>災害の<br>おそれ高い          |
| 3                        | こうれいしゃとうひなん<br><b>高齢者等避難</b><br>災害の<br>おそれあり  |
| 2                        | 大雨・洪水・高潮注意報<br>(気象庁)<br>気象状況悪化                |
| 1                        | 早期注意情報<br>(気象庁)<br>今後気象状況<br>悪化のおそれ           |

### 避難のタイミングと行動

避難開始時の状況により  
次のような方法があります。



※すでに浸水が始まっている場合や、足元が確認できない夜間の避難では、外に出ることで身の危険が高まることもあるため、避難場所へ移動する「水平避難」だけでなく、自宅等の2階以上に移動する「垂直避難」も有効な場合があります。雨の降り方や時間帯、浸水状況から、その場に合った避難方法を取りましょう。

## 3 防災・気象情報を集めよう！

### インターネット情報

福島市公式ホームページ「福島市防災ウェブサイト」  
<http://bousai.city-fukushima.jp/>

国土交通省  
「川の水位情報」



福島市簡易型河川監視カメラ  
河川に設置されている水位計の情報がライブカメラの映像をご覧ください。



テレビによる  
情報収集

Dボタンを押して、気象警報や開設している避難所などを確認することができます。

臨時災害  
ラジオ放送

万が一災害が発生した場合、市では、FMボコ(76.2MHz)を「臨時災害ラジオ放送局」として、避難所やライフラインなど、災害に関する緊急情報をお知らせします。

福島市の  
登録制メール

メールで避難情報や開設している避難所などをお知らせします。

市の防災ウェブサイトから事前に登録してください。

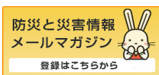
迷惑メール対策を取られている場合は、[diss-mlmg@bousai.city-fukushima.jp](mailto:diss-mlmg@bousai.city-fukushima.jp)のアドレスを指定して受信可能な状態にしてください。



市で協定を締結したスマートフォンの防災アプリ「全国避難所ガイド」も併せてご活用ください。



防災ウェブサイト  
QRコード

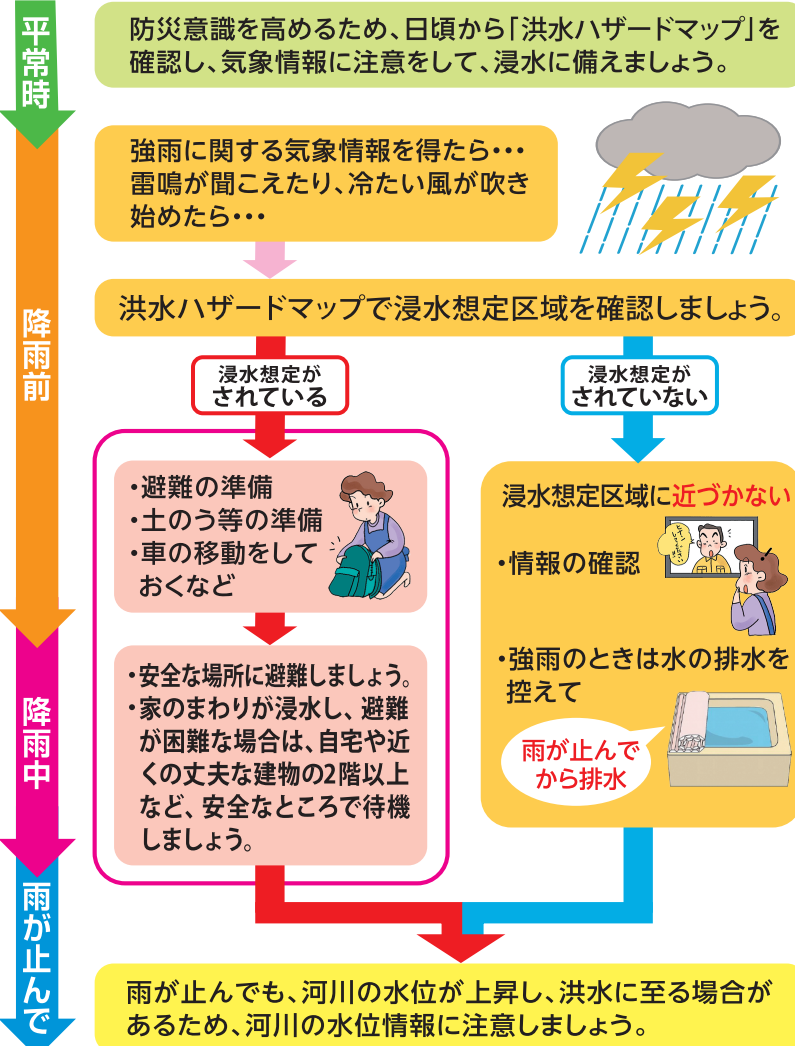


防災と災害情報  
メールマガジン  
登録はこちらから



## 4 日頃から浸水に備えよう！

### 洪水ハザードマップの使い方



### 洪水ハザードマップ凡例の解説

家屋倒壊等氾濫想定区域とは

河岸浸食や氾濫流により家屋流出や倒壊の恐れのある区域です。

特に早期水平避難が必要な区域とは

家屋倒壊等氾濫想定区域と想定浸水深が3m以上の区域で、屋内避難（垂直避難）では身の安全確保が困難な区域です。

避難所とは

学校、公共施設など一定の期間避難生活を送るために避難する施設です。避難所のうち、高齢者や障がい者等で通常の避難生活が困難な方を対象とした福祉避難所もあります。

※指定避難所は、災害状況に応じて段階的に開設いたしますので、テレビ（データ放送）、ラジオ、福島市ホームページなどから、避難所開設状況を確認の上、避難してください。

緊急連絡先 福島市役所（災害時の対策本部）535-1111 福島市消防本部 534-0119  
(市外局番024)

### 大雨時の危険箇所

#### ●アンダーパス

アンダーパスとは、鉄道や道路などの下を通過するため、周辺の地面よりも低くなっている道路のことをいいます。地形的に雨水が集中しやすい構造となっています。局所的で短時間の強雨により、アンダーパス浸水による車両の水没も多発しています。

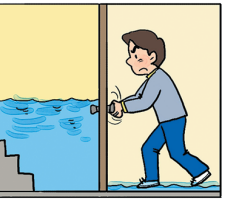
大雨時の通行は迂回するなどの危険回避を優先しましょう。もし、車両が水没し車から離れるときは、カギをつけたままにしましょう。



#### ●地下空間

市街地には、地下通路、地下駐車場などがあります。地下は水が流れ込みやすく浸水の危険が高い場所です。大雨や洪水時は注意が必要です。

出入口の外側からの浸水の場合、水圧でドアが開かないことがあります。



#### ●河川周辺

大雨のときなど、川や用水路の様子が気になっても、決して見に行かないでください。様子を見に行ったら被災することがよくあります。河川の様子は自治体などがインターネットでライブカメラや、河川の水位をリアルタイムで公開しているところもあります。様子を見に行かずこれら媒体より情報を把握するようにしましょう。

### 避難場所とは

身の安全を確保するため、緊急的に避難するための場所です。

大雨時浸水危険箇所（アンダーパスや地下歩道）

ガード下やアンダーパス・地下歩道など、水が溜まりやすい箇所を表示しています。車両が浸水する恐れがあるほか、地下歩道などに水が流れ込むと階段を上がれなくなることがあります。強雨の際は迂回して危険を回避しましょう。

聞き取り調査による浸水区域

（過去10年程度の台風等の大雨により浸水した箇所）

過去10年間で20cm以上浸水した箇所（外水は除く）を聞き取り、浸水区域として表記しています。

土砂災害警戒区域とは

大雨や長雨などにより土砂災害の危険性は高まります。避難経路上に土砂災害警戒区域があるか事前に確認しておきましょう。